

1, 概要

(1) 調査の目的

本調査では子供たちの、「学力の伸び」を測ることができる「教科に関する調査」、学習に対する意欲や学習方法、さらに家庭での生活習慣等に関する「質問紙調査」のほかに、各教育委員会や各学校の取組についての「質問紙調査」も実施しています。

「学力の伸び」は、子供たちの1年間の学習成果であるとともに、教育委員会や学校の取組の成果でもあります。本調査で示す、子供の「学力の伸び」と「教育委員会や学校の取組の変化」の関係を検証することで、今まで以上に取組の効果を確かめることができると考えています。（埼玉県教育委員会HPより）

(2) 実施日・実施内容

- 令和4年5月10日（火）
- 県内の公立小・中学校（さいたま市を除く）の小学校第4学年から中学校第3学年の全児童生徒
- 教科に関する調査 国語、算数 出題数は各学年26～40題（問題形式は選択肢・短答・記述）
- 質問紙調査 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

2, 実施教科における本校の学力の伸びの状況

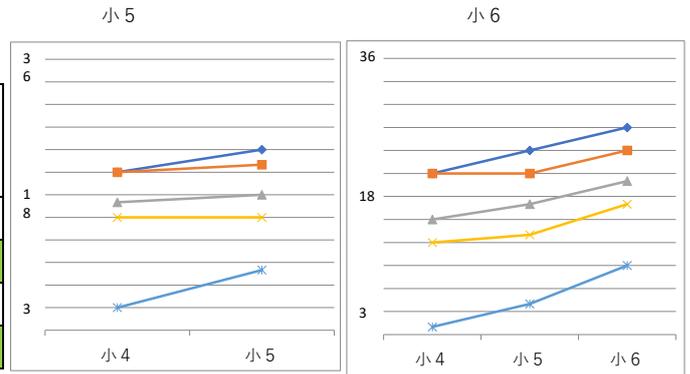
(1) 国語

埼玉県の平均より上

埼玉県の平均より下

※4年生は今年度が最初なので伸びの状況はありません

		学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)	学力が伸びなかった児童生徒の割合 (%)	学力の伸び率 (R4学力レベルとR3学力レベルの差の平均)
5年国語	埼玉県	55.0	45.0	0.7
	南小学校	<b>57.1</b>	<b>42.9</b>	<b>0.8</b>
6年国語	埼玉県	76.9	23.1	2.5
	南小学校	<b>82.7</b>	<b>17.3</b>	<b>3.2</b>



- ◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
- ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- × ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- \* ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

国語結果（分析）

4年生（平均正答率は、狭山市と等しく、学力レベルは県平均に並ぶ）

- ・正答率で県平均より高かった問題は、26問中10問であった。
- ・正答率が高かった問題は、「指示語の役割を理解する」などで県平均より10%以上であった。また、正答率が低かった問題は「登場人物の発言の内容を捉える」などで、県平均より8%以下であった。

5年生（平均正答率は、狭山市・埼玉県より高く、学力を伸ばした児童の割合も、埼玉県より高かった。県55.0% 本校57.2%）

- ・正答率で県平均より高かった問題は、30問中19問であった。
- ・正答率が高かった問題は、「文の構成を理解する」や「目的を意識して質問しながら話を聞く」などの問題で、県平均より10%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は、「段落相互の関係に注目して文章の内容を捉える」などで、県平均より5%以下であった。

6年生（平均正答率は、狭山市・埼玉県より低かったが、学力を伸ばした児童の割合は埼玉県より高かった。県76.9% 本校82.7%）

- ・正答率で県平均より高かった問題は、30問中11問であった。
- ・正答率が高かった問題は、「敬語（謙譲語）の種類を正しく理解し適切に使う」などの問題で、県平均より7%以上であった。また、記述式の問題は、県平均より上だった。（県55.0% 本校57.2%）
- ・正答率が低かった問題は、「辞書の使い方を理解する」や「文章全体の展開を考えて文章を完成させる」などの選択式の問題で、県平均より10%以下であった。

(2) 算数

埼玉県平均より上

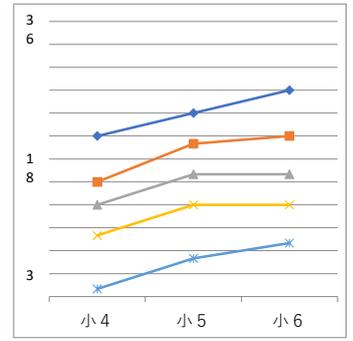
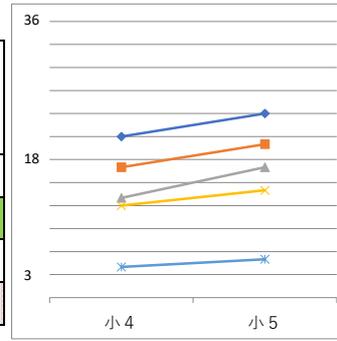
埼玉県平均より下

※4年生は今年度が最初なので伸びの状況はありません

		学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)	学力が伸びなかった児童生徒の割合 (%)	学力の伸び率 (R3学カレベルとR2学カレベルの差の平均)
5年算数	埼玉県	70.0	30.0	2.0
	南小学校	80.5	19.5	2.9
6年算数	埼玉県	67.5	32.5	1.8
	南小学校	60.2	39.8	1.3

小5

小6



算数結果 (分析)

4年生 (平均正答率は、狭山市・埼玉県より低かった。)

- ・正答率で県平均より高かった問題は、32問中6問であった。学力レベルの平均は県・市よりも低かった。
- ・正答率が高かった問題の領域は、「具体的な場面で、3位数の減法の計算ができる」などで県平均より8%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は「わり算」や「長さについて、およその見当をつけることができる」などで、県平均より10%以下であった。

5年生 (平均正答率は、狭山市・埼玉県より高く、学力を伸ばした児童の割合も、埼玉県・市より高い。県70.0% 本校80.5%)

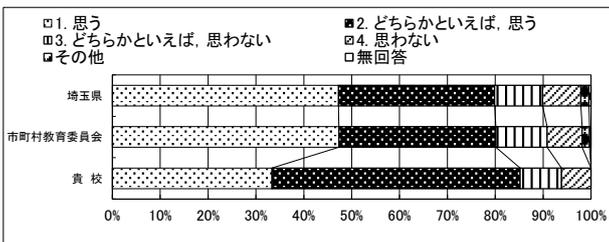
- ・正答率で県平均より高かった問題は、32問中25問であった。学力レベルは県・市平均より高かった。
- ・正答率が高かった問題は、「除法が用いられる具体的な場面で立式し、3けた÷2けたの計算ができる」問題で、県平均より14%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は、「割合をもとに数を求めることができる。」などで、県平均の5%以下であった。

6年生 (平均正答率は、狭山市・埼玉県より低く、学力を伸ばした児童の割合も、埼玉県・市より低かった。県67.5% 本校60.2%)

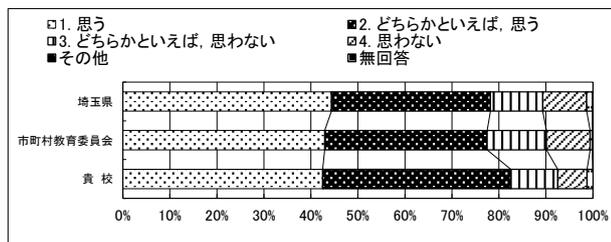
- ・正答率で県平均より高かった問題は、32問中6問であった。学力レベルは県・市平均より低かった。
- ・正答率が高かった問題は、選択式の「割合について理解している」などの問題で、県平均より4%以上であった。
- ・正答率が低かった問題は、「小数を分数に変換する」や「立体の体積を求める」などの「知識・技能」の問題で、県平均より20%以下であった。

3. 児童質問紙調査より

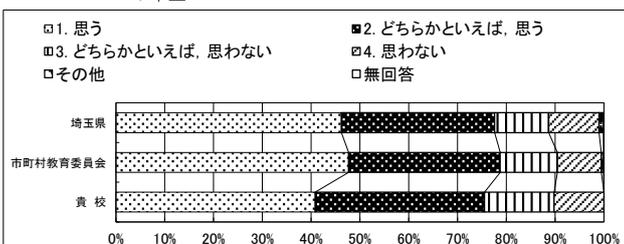
質問 「自分には、よいところがあると思いますか」



4年生



5年生



6年生

※5年生では、自分に自信を持てる児童が多く、埼玉県や狭山市の平均に近いが、4・6年生になると県・市よりも少なくなっている。これは学力の結果にもみられる。自己肯定感の低さが学習への意欲や粘り強さにあらわれるので、家庭や学校でも「やればできる!」といったような自己肯定感を高めることが課題だといえる。

4. 総括

- ①学校においては引き続き45分間の授業を大切に、学習への児童の興味関心が高まるようにしていきます。また、言語活動の充実も図っていきます。
- ②どの子にも「わかる、できる」授業の工夫改善に今後も努めていきます。また、自信を持てるように励ましていきます。
- ③無回答の児童を出さないように、最後まであきらめずに問題を解決する態度と能力を育てます。
- ④日々の根気強い取り組みを通し、漢字・計算の習得率を上げます。
- ⑤ゲームやスマホ、インターネット等の使用時間を見直していただき、家庭学習や読書の時間が十分確保できるように、ご協力をお願いします。

令和4年度埼玉県学力・学習状況調査(小学校4年, 5年, 6年)

埼玉県平均より上回っている 0.5以上

埼玉県平均より下回っている 0.5以下

4年国語

	平均正答率	R4小4レベル(平均)
埼玉県	62.1	6-C
狭山市	61.8	6-C
南小	61.8	6-C

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	70.2	70.8	71.3
	情報の扱い方、我が国の言語文化	59.0	59.0	59.2
	話すこと・聞くこと、書くこと	40.5	39.0	39.0
	読むこと	63.1	60.5	59.4
評価の観点	知識・技能	68.2	68.7	69.1
	思考・判断・表現	50.6	48.6	48.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	69.9	69.1	68.8
	短答式	51.1	52.3	53.8
	記述式	17.0	12.3	8.8

4年算数

	平均正答率	R4小4レベル(平均)
埼玉県	63.0	5-B
狭山市	61.7	5-B
南小	58.3	5-C

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	数と計算	64.0	63.4	60.9
	図形	51.4	50.5	46.7
	測定	61.8	59.3	54.2
	データの活用	75.7	73.7	70.8
評価の観点	知識・技能	65.2	64.2	61.4
	思考・判断・表現	48.5	45.5	38.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	60.7	59.4	55.8
	短答式	67.0	66.1	63.4
	記述式	41.9	34.9	26.3

5年国語

	平均正答率	R3小4レベル(平均)	R4小5レベル(平均)	令和3年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	56.2	6-A	6-A	0
狭山市	53.1	6-B	6-B	0
南小	59.3	6-A	7-C	1

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	64.3	63.2	68.0
	情報の扱い方、我が国の言語文化	59.1	58.7	68.8
	話すこと・聞くこと、書くこと	49.5	41.9	53.0
	読むこと	44.5	39.6	44.5
評価の観点	知識・技能	63.7	62.7	68.1
	思考・判断・表現	46.4	40.5	47.8
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	59.0	56.0	63.2
	短答式	54.1	51.2	54.4
	記述式	24.8	14.6	33.8

5年算数

	平均正答率	R3小4レベル(平均)	R4小5レベル(平均)	令和3年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	63.0	5-A	6-C	1
狭山市	60.6	5-B	6-C	2
南小	67.6	5-B	6-B	3

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	数と計算	62.2	60.1	67.4
	図形	56.7	54.2	63.0
	測定	74.1	72.5	74.0
	データの活用	64.0	60.2	68.8
評価の観点	知識・技能	63.8	61.6	68.3
	思考・判断・表現	58.9	55.3	63.8
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	60.0	57.7	64.5
	短答式	68.7	66.6	73.5
	記述式	35.8	25.7	37.5

6年国語

	平均正答率	R2小4レベル(平均)	R3小5レベル(平均)	R4小6レベル(平均)	令和3年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	63.8	6-B	6-A	7-A	3
狭山市	63.1	6-C	6-A	7-B	2
南小	62.0	6-C	6-B	7-B	3

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	66.8	66.7	66.4
	情報の扱い方、我が国の言語文化	63.6	63.6	60.7
	話すこと・聞くこと、書くこと	65.3	62.8	63.1
	読むこと	57.4	56.4	53.6
評価の観点	知識・技能	66.4	66.3	65.7
	思考・判断・表現	60.4	58.9	57.2
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	67.0	66.6	65.9
	短答式	58.7	58.0	54.2
	記述式	37.5	31.6	43.9

6年算数

	平均正答率	R2小4レベル(平均)	R3小5レベル(平均)	R4小6レベル(平均)	令和3年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	59.8	5-B	6-B	6-A	1
狭山市	59.2	5-C	6-C	6-A	2
南小	55.0	4-A	6-C	6-B	1

分類	区分	平均正答率		
		埼玉県	狭山市	南小
教科の領域等	数と計算	64.2	63.5	56.8
	図形	56.7	57.4	51.1
	測定	65.0	63.6	63.1
	データの活用	50.3	48.5	49.5
評価の観点	知識・技能	60.4	59.9	55.2
	思考・判断・表現	54.5	52.2	52.7
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	61.1	60.9	58.1
	短答式	60.5	59.6	53.4
	記述式	29.8	25.0	29.6